

事業者等向け

放課後等デイサービス評価表

児童デイサービスすきっぷ豊岡 提出 5名

2021年2月実施

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	対応
環境・ 体制整備	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			基準に沿ったスペースが確保されている。	定員10名に対して必要な部屋割りをを行い十分なスペースが確保されている。
	② 職員の配置数は適切であるか	100%			満たしている。	国で決められた配置基準に基づき適切に行っている。
	③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		80%	20%	トイレ内の手すりは検討してほしい。本部に打診し、検討してもらおう。	現状通所いただいている利用児に対しては必要性を感じていないためバリアフリー化を推進していない。安易なバリアフリー化はできる子供のスキルを低下させる危険性もあるが、社会生活に参加するうえで支障となる物理的な障害や精神的障壁を取り除く必要があるときには敏速に対応したいと思っている。
	④業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%			話し合いの時間はできるだけ設けるように努めている。	職員会議において参加者全員が意見を出し合える環境にある。また、施設内研修を月に2～3回程度行い、職員があらゆる視点からアプローチできるようにしている。
	⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			法人組織においてそれらを集約し、徹底した業務改善に努めるよう努力している。	職員会議において、評価表での意向には真摯に向き合い、改善に向け検討し発信している。

業務改善	⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			スタッフに自己評価の結果を公表し、周知確認している。	玄関での提示と、ホームページにて掲載している。
	⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			100%	外部評価していないが、法人組織においての理事会や監査人グループなどで対応している。	重要事項説明書にも記載しているが、第三者による外部評価は行っていない。第三者機関に関しては今後検討する。評価結果については正面から向き合い改善に努めていくが、不正な評価と判断した場合は、法人理事会において協議し判断していきたい。
	⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			社内研修や施設内研修は定期的に行っていて、職員の資質向上に努めている。	毎月研修は行い、あらゆる観点から人材育成プログラムを発信している。
	⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			通所時の様子から検証し、計画に反映させている。	保護者のニーズや子供の個性・課題等を考慮して作成している。またモニタリング会議にてスタッフ全体で支援内容の模索も行っている。
	⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%				法人内共通のものを使用している。
	⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			枠組みは担当者で行い、できるだけ全体で完成させている。	大まかな枠組みを考え、たたき台として上がってきたものを、職員全体で協議しより良いものになるよう努力している。
	⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			マンネリ化しないように努めている。	過去のデータや今必要な活動を模索検討しながら、活動プログラムを作成している。

適切な支援の提供

⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%				時間設定の範囲内において、プログラムの強弱や静的動的運動プログラムを組み合わせ支援設定している。
⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			静的動的支援などで組み合わせ作成。	状況に応じて計画を作成している。
⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			利用児に安心して安全な支援を提供するため、情報共有は今後も徹底したい。	朝会・昼会にて話し合いを行っている。
⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			できるだけタイムリーに情報の共有を行うなどする。	活動後、帰りの送迎後に施設長への報告を行っている。全スタッフへは翌日に朝会で報告している。
⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			変化や様子などできるだけケース記録に記載し、安心して楽しい事業所づくりに邁進する。	朝会で利用児の様子や動向を共通の認識事項として職員が把握し、ケース記録を作成している。いつでも閲覧できるように保管し、よりよい支援になるように検証・改善につなげている。
⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			定期的にモニタリングを行い、計画等の見直しをしている。	6ヶ月毎に全スタッフで行っている。
⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	100%				組み合わせ合わせて支援を行っている。今後もガイドラインに沿った活動の組み合わせを行っていく。

	⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%				担当者会議に児発管が参加している。必ず事前に打ち合わせを行い、その子供の状況を確認している。
関係機関や保護者との連携	㉑学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			タイムリーに連絡の共有を図り、円滑に行えるよう努める。	送迎時に引き継ぎを行っている。必要に応じて電話もしている。
	㉒医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100%				医療ケアが必要な子供に関しては、現在受け入れをしていない。
	㉓就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	60%	20%	20%	必要があれば情報の共有を行っていく。	保護者の依頼があれば、必要に応じて行う体制は整っている。
	㉔学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	80%	20%		該当利用児なし。	保護者の依頼があれば、必要に応じて行う体制は整っている。
	㉕児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	80%		20%		積極的な参加はないが、必要に応じて実施していく。
	㉖放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	100%				今年はコロナの影響で関わる機会は少ないが、今後も多くのイベントに参加し関わる機会を設けていく。

	⑳(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	80%	20%	20%		外部からの依頼があった場合は実施していく。
	㉑日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			その日の施設での様子を伝え、保護者様から普段の様子なども確認している。	送迎時や連絡ノート、電話での対応を行っている。
	㉒保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%			個別でアドバイス等を行っている。	個別でのアドバイス等は必要に応じて行っているが、集団でのペアレントトレーニングは行っていない。今後視野に入れていきたい。
保護者への説明	㉓運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			親切丁寧に対応する。	見学・契約時に行っている。
	㉔保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			保護者様のお話を優先し、必要に応じて助言をする。	安易で軽率な対応は避け、丁寧に対応する。
	㉕父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	80%		20%	コロナ禍で開催できなかったが、保護者からの意思や事業所側の意向など考慮して進めていきたい。	music&dance発表会を開催し、保護者同士が関われる機会を設けている。
	㉖子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			法人内苦情委員会の設置により、敏速に対応する。	苦情が発生した場合、法人規則を厳守し敏速に対応する。

責任等	③④定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			通信などは、子ども達の活動の様子や最高の笑顔での写真を掲載するなど、保護者様に施設でのお子様の様子をイメージできるように作成している。	毎月の通信などで伝えている。
	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	100%			職員全員で確認しあい、取り扱いには細心の注意をしている。	『個人情報利用の目的』に従い、細心の注意をしている。不要なデータや使用済みの書類、送迎表など、施設内シュレッダーにて廃棄処分し、職員規定により職員による施設外の持ち出しは厳しく禁じている。今後もより一層セキュリティ強化に努めいく。
	③⑥障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			伝え方には気を付けるよう全スタッフへ周知している。また、聞いて終わるのではなく、復唱させていただき細心の配慮を行う。	『言った、言わない』などのトラブルにも成りえるケースなので、落ち着きを持って丁寧に向き合うように努力する。決して一方通行になるような会話や伝達は避け、互いが納得できる情報伝達をしていく。
	③⑦事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	60%	20%	20%	コロナ禍もある為、状況に応じて対応する。	昨今の凶悪犯罪等事件につながったり、個人情報保護の視点から見て、セキュリティ上好ましくない事情もある。すぎつぷ作品展を開催し、地域住民の方々へ施設の様子などを発信している。
非常時等	③⑧緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			職員研修にてスキルアップを図る。	緊急時対応マニュアルは毎年4月にご契約者様に配布している。変更が出た場合についても敏速に情報公開をする。
	③⑨非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			定期的に行うことで、職員・利用児の敏速な行動や災害に対する意識を高めていく。想定問答も考えその他必要な訓練も模索していく。	スタッフ研修・利用児を含めた実施を年2回行っている。(火災・地震)また、今後は不審者への対応訓練も実施していく。
	④⑩虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%				法人として2・5・8・11月に虐待防止委員会を開催しており、内容を事業所内にも周知している。また同月虐待防止研修を行なっている。今後も継続し虐待防止に努めていく。

その対応	④①どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%				契約時や必要に応じて面談時等に説明している。また、個別支援計画特記事項にも記載している。法人として2・5・8・11月に身体拘束廃止委員会を開催しており、内容を事業所内にも周知している。
	④②食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			フェイスシートにて保護者へ聞き取りをしている。	フェイスシートに従い、対応している。
	④③ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			小さなことでも提出し、法人全施設において共有している。	職員が出しやすいよう環境を整備していく。また読み合わせを行っている。